

育休復帰支援のためのロールモデル紹介事業

【事業実施主体】

(特活)男女共同参画社会をめざす女性教育を考える会広島

【連携団体】

広島市市民局人権啓発部男女共同参画課
広島市男女共同参画推進センター
広島県中小企業家同友会(協力)
広島商工会議所女性会、青年部(協力)

【目的】

人口減少による労働力不足もあり、男女にかかわらず力を発揮する社員に働き続けてほしいという企業ニーズ、働く女性の子育てと就労継続の思いがある中で、育休取得や復帰支援への関心が高まっている。企業には、ノウハウがないこと、労働者にも前例がないことなど、双方が同じ課題を抱えている。

育休取得・復帰の経験を持つロールモデルをホームページ等で紹介し課題解決につなげる。

【主な取組】

- 1、プロジェクト会議の開催
ロールモデルの取材・原稿執筆、ロールモデル掲載サイトの広報、報告会と交流会の実施。本事業の内容とアンケートの実施結果の検討会議。
- 2、ロールモデルの取材と原稿執筆
対象：育休取得者のロールモデル
企業・個人（20名）
- 3、情報掲載・報告会・交流会
・ホームページで紹介
13社、
・サイトPRカードの作成、配布（1,000枚）
・報告会 2名（1回）参加者71名
・ロールモデルとプロジェクト委員等の交流会
ロールモデル 5名、参加者9名

事業実施概要

プロジェクト会議 4回開催(8月12日、9月12日、10月30日、1月16日)

構成 : 6名

1回 : プロジェクト会議の役割、内容、スケジュール、取材先、取材内容・方法、サイトの掲載について、報告会・交流会の検討。

2回 : 取材先の検討

- ・育休カフェに参加者の協力を得る・建設現場にでている女性で育休取得者を調べる。
- ・保育園での保護者に聞いてみる。

取材方法

- ・シート1枚で記入可能にする ・取材先対象者のプロフィールが記入可能にする。
- ・取材依頼後取材先を決定次第、随時調整して取材を分担する。

サイトの掲載方法

- ・ロールモデル項目より検索できるようにする。分類シート、制度、業種・職種、規模や部署等からも検索できる。家事の工夫、家族のコミュニケーションの方法も項目に入れる。

3回 : 9月3日より取材開始し、12月11日終了。13社、20名のロールモデルに取材を行う。取材後随時原稿執筆してきた。



事業効果

- 1、育休取得者のロールモデルの方々を励ますことができた。ロールモデルの方々の経験は就労継続の困難さと充実感を切々と訴えていることや楽しさも含め掲載され、少しずつ反響がでている。
- 2、ロールモデル紹介カードを広島市内4,000枚配布した。話題になり、広島市男女共同参画推進センター主催育休カフェへの男性参加者が増えた。
- 3、ホームページのロールモデル紹介ページでは、アンケートを行い、大変役に立った66.7%、少し役に立った33.3%という結果になった。アンケートや交流会を行う事により、2回目以降の育休に不安感を持っている事や具体的な保育園を探すコツなど、ニーズ調査にもつながった。
- 4、企業への協力を依頼して行った事業。取り組んでくださった企業は、関心が高く引き続き女性の活躍推進に力を入れている。
- 5、サイトの掲載を継続していくことで、育休制度が当たり前のこととなり、将来にわたって女性の活躍が期待できるよう啓発していく。

今後の課題

- 1、ロールモデル紹介のサイト利用について、追跡調査をする。
- 2、「育休カフェ」にロールモデルのお話し等を入れ、育休制度の実行を促していく。
- 3、アンケートの回答数が少ないことから、効果的な広報活動が必要であると考えられる。
- 4、新たに取材記事を追加していく際には、アンケート結果や交流会で出たキーワードを基に、育休取得中の方やこれから育休を取る方がどんな事を知りたいのかをリサーチし、閲覧者がメリットと感じてもらえるような情報提供をする必要がある。